

政策コメンテーター報告(第5回)(意見照会期間:2015年10月22日～11月4日):石塚 邦雄 株式会社三越伊勢丹ホールディングス代表取締役会長執行役員

質問事項	選択式回答	記述式回答
<p style="text-align: center;">経済動向</p> <p>1</p> <p>2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>	<p>悪くなっている</p>	<p>中国経済の減速感や株価の下落により消費マインドが悪化、個人消費にもたつきがある。百貨店業界においては、全国百貨店売上高が6ヶ月連続で前年比プラスで推移しており一見好調に見えるものの、訪日外国人によるインバウンド需要を除くと、前年、及び消費増税の影響を除く前々年比較で、3か月前と比べ悪化している。高付加価値商品やサービスへの需要がある一方、根強い節約志向が進展している。インバウンド需要は、引き続き前年比較で2～3倍で推移し、中国経済減速の影響はさほど感じられないが、今後影響が懸念される。地域別でみると、首都圏をはじめ大都市圏ではインバウンド需要の恩恵もあるが、地方や郊外ではその恩恵は限定的で、商圏と立地の二極化が鮮明になっている。</p>
<p style="text-align: center;">「経済・財政一体改革」に向けた取組</p> <p>2</p> <p>改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。</p>	<p>-</p>	<p>財政情報を見る化しKPIを設定、定期的なチェックや必要に応じて計画を見直すPDCAフローは財政健全化に向けて必須であり、明確な工程が示されることは評価される。一方、具体的中身や実現方法については、さらに議論や検討を要する。KPIが設定されても、達成させるための具体的道筋がなければ、目標達成のシナリオがみえてこない。</p> <p>歳出改革について、人口減少・高齢化が一層進展していく中で、その大部分を占める社会保障制度、特に医療、福祉、介護分野において大胆な改革が不可欠。医療・介護体制の適正化やインセンティブ改革、診療報酬や医薬品等に関する改革は、具体的に、例えば健康管理努力やジェネリック医薬品の利用促進をどう推進し効果を出していくかまで明確化が求められる。</p> <p>歳出削減に向けた取り組みに加えて、経済再生や消費創出に向けた取り組みの具体化も不可欠。経済再生と財政健全化は両輪で、経済成長なくして財政健全化はない。新たな成長分野の産業化や、少子化対策、子育て世代への支援の強化等についても、KPI及び明確な工程を示す必要がある。</p>